

# 拝啓、受験生諸君

長く険しかった道を抜け、君は今、人生の岐路に立つ。

ここで君は何を思うだろう。

自信に満ち溢れているのだろうか。

それとも不安に苛まれているのだろうか。

何を思っていたとしても、

遠く及ばなかったあの頃の君とは違う。

誰に馬鹿にされようと、無理だと言われようと、

どれだけ悔しくて泣こうとも、

それでも諦めずにここに立つ君がいる。

さあ時は来た。

悔いは絶対残すなよ。最後の0秒まで前向けよ。

君が一番強いだろ。

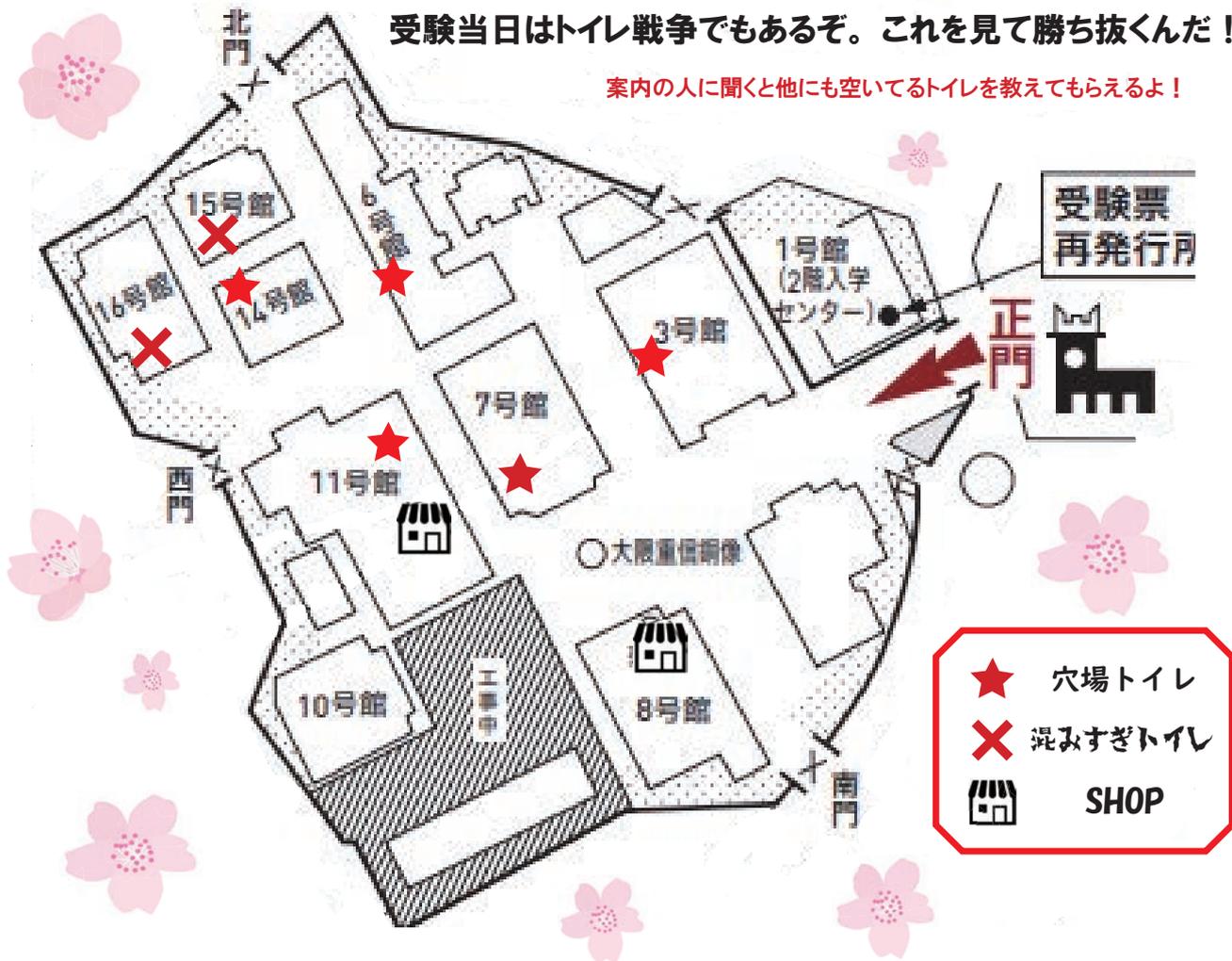
今こそ

# 全てを懸けろ

# 受験生応援 穴場トイレ & SHOP

受験当日はトイレ戦争でもあるぞ。これを見て勝ち抜くんだ！

案内の人に聞くと他にも空いているトイレを教えてもらえるよ！



## ★穴場トイレ★

- ・14号館地下トイレ 空いているというか人がいない
- ・6号館トイレ 空いているといえば6号館
- ・11号館上層階トイレ 上に行けば行くほど空く
- ・3号館トイレ 綺麗で快適に使用でき、空いている
- ・7号館トイレ 比較的空いていて good

## SHOP

- ・8号館生協 時計売ってるよ！
- ・11号館ファミマ ※一部試験日は閉店  
忘れ物をしたみんなはここで買おう！

## ×混みすぎトイレ×

- ・16号館トイレ 混みすぎ。脱糞確定 (1階はマシ)
- ・15号館トイレ 混みすぎ。脱糞確定  
※戸山キャンパスも基本混んでるよ！

### 【補足】

トイレに並ぶ場合は長時間並ばないといけないことが多いため、参考書を持ち歩くのがいいだろう。  
また仮設トイレは外で寒いので、並ぶ場合はカイロが必須である。

# 受験当日あるある

● ボロボロの参考書持ってる受験生、とても怖い

大丈夫！参考書のポロさと学力は比例しないぞ！！



● BBS でとりあえず易化と書き込み、

他の受験生からのパッドマークカウンターには注意！

他の受験生のメンタルから破壊する

● 受験当日に見る大隈重信像、とても大きく感じる

その大きさが君の早稲田愛の大きさだ！



● 試験終わった後のラーメンが格別

終わったら武道家を食いに行け！！

● ウンコの列待ってる男、歴史苦手がち

※諸説あり

● 浪人確定の記念受験勢、試験中に浪人計画立てがち

浪人生活はすでに試験中から始まっている

● ずっと鼻水すすってる受験生、どっか行ってくれーがち

事前にティッシュを用意しよう！

● マザコン、ママについてきてもらう

ママが来ると男はみんなうれしい



● JK、刺激強いがち

浪人生、男子校の諸君は特に気を付けよう！

## ～精神統一の心得～

落ち着いて試験に臨むために、以下のことを心得よ。

- 一つ、固まった体をほぐすために外に出て軽めの体操を行う。
- 二つ、お世話になった人や応援してくれている人、努力した日々を思い出す。
- 三つ、この中で自分が一番強いという強気のマインドを持つ。
- 四つ、試験開始一分前から目を閉じて瞑想を始め、呼吸を整える。
- 五つ、試験開始直後に落ち着いて問題の品定めをする。

★★一点でも差をつける超難問題★★ ※知らないとダメなわけじゃないよ！

### 英語

- subvert ～を覆す  demeanor 態度  しりう言 愚痴  こぼつ 壊す  
 leverage ～を活用する  rapport (調和した) 関係  かへさ 帰り道  受け張る 遠慮なく行動する

### 日本史

Q.1955年の総選挙において、社会党左派と右派のリーダーはそれぞれ誰か。

A. 右派 鈴木茂三郎 左派 浅沼稲次郎

### 世界史

Q. アンコール・トムを造営したアンコール朝の国王は？

A. ジャヤヴァルマン7世



# 諦めたらそこで試合終了ですよ

## 教育学部一年 沖村一翔

まず初めに。新課程となり、共通テストでの新たな科目「情報1」の追加、早稲田大学においては人間科学部、社会科学部への入試方式の変更など僕たちが受験したころとはまた違った状況で挑戦している皆さんへ、心から尊敬の念を贈ります。

僕が受験を通して得たことは諦めたら試合終了。まじでこれです。受験の時に学校の先生や予備校講師が言っていて、当時受験生だった僕は「スラムダンクの映画流行ったもんなんー。確かにこの言葉言えたら気持ちいいよね。」と大人がかっこつけるために使っている言葉だと思っていました。でも受験を終えて一年たった今、皆さんに言いたい言葉を一言。「諦めたらそこで試合終了だよ。」

僕の入試科目は英語物理数学の理系三教科で、この科目で受けられる早稲田の学部が人科と教育理系のみなうえ、人科は家から通えないため教育の入試が最初で最後の早大入試となった。

2月19日早稲田大学教育学部入試。

入試会場に入ると、他大学とは違う雰囲気を感じた。まず、自分の座席の前に座っていた人。この人が持っていた赤本が早稲田のじゃない！東大のやつ。早稲田が第一志望だった僕はここで初めて書物に対して激しい威圧感を感じた。しかもこの人貧乏ゆすりもしていた。入試妨害のために派遣された作業員の後ろという座席ガチャ大外れで心ここにあらざる状態で受けた一科目の英語。英語はずっと苦手科目で、過去問でも調子が良い時ですら5.5割ほどしか取れなかったため、本番も「5割を取れば上々だ」と思って臨んだが自信をもって解けたのが2割。残りの8割のうち1/5くらいは当たっていたと考えても期待値3.6割。「まあ苦手科目だし……」と自分に言い訳し、メンタルをあと一歩のところで保って臨んだ二科目の物理。

ここで大きな問題が二つ発生。

一つ目は物理の出題傾向の変化。

以前の入試ではオーソドックスな問題がよく出ている、ベタ問さえ解けていれば8割取れるような出題であったが、一気に変化して原子分野や電荷の作る電場など重箱の隅をつつくような問題しか出なかった。傾向と対策でベタ問しかやってこなかった僕は、ここでかなりメンタルにひびが入ってしまった。

そして二つ目の問題。前の作業員の貧乏ゆすりが大きくなってきた。ただでさえ解けない目の前の物理の問題と、目の前の人が足の振幅を大きくした単振動運動を始めてしまったせいで集中できないダブルパンチで、結果は解答欄の4割ほどが空白という状態で提出。ここで僕のメンタルがβ崩壊してしまった。電子を放出しメンタルが陽子になり絶対に落ちたと確信した僕は、休み時間に一緒に受けていた友達に受験会場を抜け出す旨を伝えた。そしたら、その友達から一言。

「諦めたらそこで試合終了だよ。ラスト数学受けてみよ！」

ここでタイトル回収。メンタルが陽子となっていた僕は、ここでの言葉と結合して受験会場脱出を諦め、ラストの数学を受けてみることにした。

数学は得意科目であったものの、英語物理で散々な結果だったので巻き返しはほぼ無理だと思いながらの受験。それが功を奏したのか全く緊張せずいつも通り、いやいとも以上の手ごたえを感じて試験を終えることとなった。

全体の手ごたえとしては「不合格かな」と思っていた最初で最後の早大受験であったが、終わりよければ全てよし。最後の数学で今まで以上の手ごたえを感じたので帰っているときはあまり落ち込まなかった。

そして3月1日合格発表の日。この日は高校の卒業式でもあった。卒業式直前にUCAROを開き、合否発表の瞬間を迎える。そして現れた文字列は

「補欠合格」

正直絶対落ちていると思っていたので、「どうせ落ちるんだから補欠なんて絶望の引き延ばしだ」と滑り止めの東京理科大に進学する気でした。友達にも「早稲田より

理科大のほうがしつかり学べると思うから早稲田もし受かっても理科大行くかも」とめっちゃくちゃ負け惜しみを言っていた。

補欠合格の発表日。僕は吹雪の中でスキーをしていた。補欠合格の合否はリフトの上で確認。その時も、「まあもう入学金払っちゃったし理科大行くかな」と友達に言いながらUCAROを開いたところまさかの合格。めちゃくちゃ嬉しかった。入学金？知らない！絶対早稲田!!吹雪も吹き飛ばすほどの手の平ドリルに友達も苦笑い。

後々冷静になって考えると、やはり数学が過去一で勝たることが勝因だろうと思つた。あの時脱出を止めてくれた友達、先生ありがとう。とまあ早稲田の現代文を読み解いている皆さんからするとかなり拙い文章になってしまい申し訳ないです。

最後に受験の最終盤にいる皆さんに言いたいことがあります。

「諦めたら試合終了。」最初の二科目ができなくてもそれがかえって三科目をリラックスした状態で受けられる追い風になる！絶対に最後の入試日の最後の科目まであきらめないでください!!ちなみにスラムダンクは読んだことないです。



# 今弱物語

## 教育学部一年 速水大己

2024年2月、パス単1級を

片手に周りの受験生を威嚇しながら僕は早稲田のキャンパス内を闊歩していた。しかし、「自信」そんなもの最初は微塵もなかった。中学まで続けたサッカーはベンチからの景色しかほぼ記憶にない。高校から始めた陸上競技も怪我ばかり。公立高校に落ちてしまったため母子家庭ながらも私立通いを余儀なくされた片親パソ生活。勿論恋愛なんて無縁。所謂「弱者」というやつだ。

第一志望は早稲田大学。兄は明治大学に通う、恋愛経験豊富、サッカー部部長やサークル幹部を任せられるようなリーダータイプのイケメン。「予後」が良い彼に勉強だけでも勝ちたかったときだけはシンプルであった。(KO大学は温室育ちぬくぬく上級国民が多いなど怒涛のネガティブキャンペーンを家族から受け、洗脳されていたため眼中になし。)ところが、国立大学に進学して親孝行しようなんて一丁前に意気込んだくせに、勉強から脱落シテストは堂々の学年ビリ。完全に舐め腐っていた

と思う。

理想だけ語っては勉強に本気に向かうことのないまま時間はただ淡々と過ぎ去っていく。手垢一つない綺麗な単語帳に模試の結果は偏差値38.7。早稲田への思いは募る一方で、現実を直視することからは逃げ、気が付けば人前で勉強の話をするのを避けるまでに自分のプライドはこじれまくっていた。周りの同級生と比べては劣等感に苛まれる日々。そんな負の感情の狭間に溺れて何もできなかつた。

2023年2月、早稲田の受験会場に僕の姿はなかった。偏差値が50を超えることはなく受験料の無駄であるということで、「早稲田大学御中」と記載された調査書は紙くずとなった。かくして挑んだ結果、合格通知をもらったのは神奈川大学のみ。某タックル大学すら不合格だったことに堪えたのか「本気出さなかつただけ」と意味不明な言葉を漏らす。悔し涙もなく、寧ろ全落ちというレッテルが貼られずに済んで安堵まで覚えていた。それと同時にこれまで

自らのくだらなさに僕は腹が立った。

現状を嘆くだけで前に進むことを諦めてしまった自分に。このままでは終われない、変わりたかつた。その願いを形にするように、早稲田が遠くで手招きしている気がした。

浪人生としての日々が始まり、友人の誘いはすべて断つた。SNSはアカウントごと削除、夏には髪も切り捨て坊主にした。注意散漫で怠惰な自らを鑑み、端から精神論に頼らず環境で追い込み勉強時間を確保する。現状の自分と真つ直ぐ向き合い、短所に落胆することなくどう補うか前向きに考えることができた。

シス単も1.2割しかわからないくらい想像以上に基礎からのスタートではあつたが順調に実力を蓄えMARCHの問題も解けるようになって成長した。しかし、スランプに陥ることもたびたびあつた。集中力が続かず勉強時間減少、最新の過去問で英語3割、共テブレ国語偏差値46・5で最後までE判定。しまいには生活サイクルが崩れすぎて「社不すぎる」と兄に言わせてしまう。

それでも自分に「また明日頑張ろう」と、言い聞かせ気持ち切り替え続けた。

2月、あつという間に滑り止め校の受験が終わつた。早稲田は人間科学部、教育学部、商学部、社会科学部の受験。二浪も頭をよぎつた。でも緊張はしなかつた。失敗を恐れるだけ無駄だとわかつていた。それよりあんなに失敗してもこの舞台にいる、その事実だけで自分を褒めたかつた。早稲田の門を叩く僕の顔は自信に満ち溢れていた。

遂に試験が始まつた。国弱な自分は国語が易化することを神にする思いで願つた。国語が難しい人間科学部は手ごたえいまひとつ。商学部なんて英語が難しすぎて試験中にもかかわらず眠気も吹つ飛ぶくらいにかかわらず眠気も吹つ飛ぶくらいに失笑した。それでもなんとか教育学部だけは国語が易化し手ごたえを掴む事ができた。英語はまぐれで荒稼ぎし、世界史は前日の人科の復習が功を奏した。そして最終日、社会学部世界史、最後の試験を解く。長い受験生活が終わるのを前に口角が上がるのを抑えられず、目の前の試験監督を怖がらせてしまった。

迎えた合格発表日。人間科学部「補欠」、商学部「不合格」。早稲田は簡単に門を開けてはくれなかつた。残るは教育学部と社会科学部。社会学は

国語で大コケ。もう後がない中、恐る恐る教育学部の結果を確認する。  
「合格」

その二文字が画面に映し出された瞬間、長い間全身にのしかかつていた重荷が消え去つた気がした。運が良かっただけかもしれない。けれど泥臭くとも合格を手にした僕の勝利であり間違いなく成功であつた。二度目のチャンスを与えてくれた親、支えてきてくれた人への感謝の気持ちで溢れた。今度は自分が誰かを支える番。そうして僕は早稲田の地でまた一歩足音を鳴らした。

正直この文章を読んでいる受験生全員が受かるほど現実には甘くない。落ちる人だつてそりゃいっぱいいるだろう。失敗、すごく怖いと思う。崖の上に立たされている気分かもしれない。けど目の前にあるのは、たかが階段の段差程度のものに過ぎない。躓いたらまた立ち上がつて前に進めばいい。僕は現役の時歩みを止めた。でも君たちは上手くないかないことがあると、どんなかたちでも諦めずに戦い抜いたからこそこにいるはずさ。そんな君たちは早稲田の入試結果云々なんかで挫けるわけがない。大丈夫、先は明るい。ここまできた自分を全肯定してやれ。

さあ、前に踏み出せ挑戦者！



# 静寂にて

社会科学部一年 金子翔之丞

90秒

きつかけなんて、本当に覚えてないくらい些細なことだったよな。そうだ、オープンキャンパスだ。あの日、何気なく誘われて行ったオープンキャンパス。そびえ立つ大隈講堂の姿に、息を呑んだ。紺碧の空に浮かぶ、あの美しい校舎。「ここだ」って思った。なんでかわからないけど、「ここに来たい」って、心の底から思ったんだよな。あの瞬間から、お前の人生は少しずつ変わり始めたんだよ。自分には無理だななんて思いながらも、諦められなかった。あの景色を見るために、あの場所に立つために、ここまで苦しい思いをぐっとこらえて歩んできたんだよ。まずはお疲れ様。

80秒

最初は、ただ漠然とした憧れだけだったよな。でも、高2の冬、お前は本気で決意した。「このままじゃ絶対に届かない」って、何かが弾けたんだ。周りのみんなが遊びや恋愛に夢中になってる中で、お前

だけが放課後の教室に残って、薄暗い中で机に向かい続けた。寂しかったよな。不安だったよな。それでもやめなかった。E判定の結果が何度も突き刺さって、自信なんてほとんどなくて、それでも、お前は前に進み続けた。どれだけ泣いても、くじけそうになっても、絶対に諦めなかった。

70秒

あの3月、あいつと別れた時もつらかったよな。焦りとか無力感とかがぐちゃぐちゃになってたお前は「受験に集中するため」なんて言って、強がってさ。でも、別れて初めて気づいたよな。どれだけ心の支えになってくれていたか、同時に自分がどれだけ甘えていたのかを。別れてなかったらどうなっていたのかな。もつと気楽に受験できてたのかな。それとも恋に現を抜かして今日ここにいなかったのかな。まああなたにはともあれ今ここに

60秒

そうだ、あの時を覚えているか？初めて過去問を解いた日。社会学の正答率20%で、絶望したよな。机に突っ伏して、何度も「無理だ」って呟いたよな。でも、そこからだよ。お前のすごいところは、そこから諦めなかったところだよ。基礎からコツコツやり直して、少しずつ伸びて、夏には合格最低点に届いた。「あと少しだ」って希望が見えたから、思い切って政経に志望を変えたんだよな。数学が苦手なのに、そこから数1Aをやり直して、共通テストでは8割まで持つて行った。誰が見てもすごい努力だったよ。

50秒

でもな、お前、共通テストであんなミスするとは思わなかったよな。漢文でマークが全部ズレて、それに試験終了直前で気づいた。気づいた瞬間、心臓が止まるかと思っただろ？後から採点したらお前本当だったから漢文満点だったんだよ。

頭が真っ白になって、焦りでリーディングもボロボロ。好感触だった漢文が0点。お前は、逃げ出したくて受け入れられなくて、泣きながら担任に電話したよな。あの時の「最後までやりきれ」って言葉でまた立ち直ったんだよな。そこからが、お前の真骨頂だった。

40秒

共通テスト利用ができなくなっても、他の選択肢を探して、MARCHの過去問を解きまくった。疲れ果てて泣きたくなる日もあった。それでも、ここまでの入試もやり切ったじゃないか。初めて東京に一人で行って、慣れないホテルで心細かっただろう。それでも、明治、立教、学習院、青学、見事に全部合格を掴み取ったんだ。その合格通知を見た時、お前の顔、晴れ晴れしてたよな。ホントに嬉しかったよな。「やればできる」って自分を信じられた瞬間だった。

30秒

そして、今ここだ。あの頃憧れた大隈講堂が目の前にある。この場所に来るために、お前はどれだけ時間を費やし、どれだけ涙を流した？でも、これで終わりって少し寂しい気もする。全部この日

のためだったんだもんな。辛かったけどあいつらと問題出し合ったり、図書館で昼ごはん食い行くのとか楽しかったな。あれdenyって後ろ動名詞だっけ？ん、ドンズー運動始めたのって誰だっけ？源氏物語って紫式部だっけ？清少納言だっけ？

20秒

深呼吸しろ。深呼吸。静かに目を閉じる。これまでの道のりを思い出せ。どれだけ辛くても、どれだけ挫けそうでも、お前はここに立っている。それがすべてを物語っている。大丈夫だ。お前ならできる。どんな問題が来ても、お前なら乗り越えられる。

10秒

さあ、行け。お前がここまで来た努力を、すべてこの瞬間にぶつける。全部出し切ってこい。悔いなんて、残さなくていい。お前は絶対にできる。信じてるぞ。

さあ、かかってこい。  
試験開始。

最後まで  
自分を信じて  
教育2年広報部長

お前の頑張りを  
ずっと見ていたぞ。  
本生によくやれた。  
社会学部2年

解ける問題  
が確実に!  
1年林

勝って  
松大Tier表"S"  
社会学部2年黒沢

どうせなら

受か、て終われ  
社会学部1年西本

早大受からない奴、  
予後悪...

合格を  
ツソろう!  
河合塾7014

抗え

1分1秒にこだわる

文学部2年

合格を掴め!

元広報部長 商2年

文学部2年のめい

お前が一番強い。  
編集部の収録

社会学部1年五嵐

楽しめたら  
勝てるよ。  
1年安倍

早稲田で  
座して待つ。

"合格"が出る  
その一時まで。

社会学部2年幹事長より

社会学部2年11G aka 大田長

笑顔  
を  
忘れずに。  
ウツイ

自分を  
信じる

社会科学部1年の♡

頑張れ!

未来の早大生!!

教育1年 河合塾ハイパー

大学入試よりも  
商の定期試験  
の方がつらいよ!!

社会学部2年整形

大学入試よりも

法学部の定期試験  
のほうが辛い!!!

法学部2年まわりくんの姉

一筆入魂

戦云

社会学部2年大澤

商1年(2020)

欲を捨てる

レゾ賢者タイム

はびみす

これ読んだらヒマあたら

勉強してね、1年

国教1年

一発合格

社会学部2年  
逆転合格  
より

早稲田は

楽しいぞ!

又根 1年(2020)

# 早稲田大学英字新聞会 ザ・ワセダ・ガーディアン



## ・ガーディアンとは？

1936年創立、早稲田最古の公認サークル！！  
受験生応援雑誌「早稲田魂」や、英字新聞を発行しています！  
三大イベント（早稲田祭、早慶戦、100キロハイク）にも参加！  
他にもイベントたくさん！！  
早稲田一おもしろいサークルで早稲田を楽しもう！！

## ・新歓情報

毎週火曜日 説明会  
お花見新歓、女子会、早稲田～築地ハイク  
など開催予定(^^)/

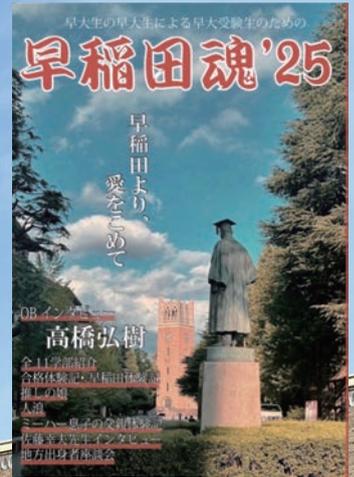


公式 X (旧 Twitter)、  
Instagram で新歓情報  
発信予定！



受験生応援雑誌『早稲田魂』  
全国の書店・BOOTHにて  
絶賛発売中！！

英字新聞 The Waseda Guardian  
新歓にて無料配布！



# 合 格